

山形県看護連盟だより



第43号

平成30年 8月20日発行

発行所／山形県看護連盟
〒990-0023 山形市松波 4丁目1-39

明泉ビル 2F

TEL 023-633-8153

FAX 023-633-8157

発行責任者／伊 藤 加代子

印刷所／コロニー印刷(山形福祉工場)



平成30年7月奥山寺と紅花



ごあいさつ

山形県看護連盟 会長 伊 藤 加代子

会員の皆様にはお変わりなくお過ごしのことと思います。

この7月、西日本を中心とした豪雨災害で被災された皆様にお見舞いを申し上げます。

「備えあれば憂いなし」とはいうものの、いつ起こるか、起こるか起こらないかさえわからない状況下で、用意周到な準備など可能かどうか私自身自問自答の日々でした。連日猛暑の過酷な状況下ではありますが、被災された皆様の一日も早い復旧をお祈りするばかりです。

さて、山形県看護連盟は現在、会員の皆様に「石田まさひろを応援する会」に賛同し入会して頂き、たくさんの方に「伝え広める」活動を展開しております。

私たち看護職の代表を国会に送る意義をしっかりと再認識し、「数は力なり！」みんなで応援していきましょう。

9月2日(日)に「石田まさひろと看護を語る会」を企画しております。この機会に是非、石田議員に直接会っていただき、熱いエールを送っていただけることを願っております。

また、会員の皆様のご協力により、今年度の連盟活動も順調に進んでおります。施設訪問では、管理職の皆様にはお忙しい中、お話をさせていただくことができました。訪問を重ねることで成果が実感でき、施設の皆様には心より感謝申し上げます。

会員の皆様には、さらなるご理解とご支援をお願いするとともに、皆様のご活躍をご祈念申し上げます。

C O N T E N T S

- ◆ 山形県看護連盟伊藤加代子会長あいさつ 1
- ◆ 平成30年度山形県看護連盟通常総会 2
- ◆ 平成30年度特別講演会 2
- ◆ 平成30年度日本看護連盟通常総会 3
- ◆ 石田まさひろ活動報告 3

- ◆ 山形県看護連盟支部紹介 4、5
- ◆ 平成30年度 新支部長オリエンテーション、支部長研修 6
- ◆ 新役員紹介 6
- ◆ 第5回日本看護連盟北海道東北ブロックポリナネットワークショッパ青森 7
- ◆ 今後の予定 8

平成30年度 山形県看護連盟通常総会

開催日：平成30年5月26日(土) 場所：山形ビッグウイング 国際交流プラザ 出席者：91名

山形県看護連盟総会に参加して

寒河江市立病院 森 圭 子

平成30年度山形県看護連盟通常総会が5月26日山形ビッグウイング大会議室で開催されました。12時開会后、会長挨拶・来賓祝辞・祝電が披露され、議事が開始されました。平成29年度報告6事項及び平成30年度審議6事項は問題なく承認され、新旧役員紹介・綱領宣言・看護連盟歌斉歌で閉会しました。

平成30年度は『ベッドサイドから政治を変える！』をスローガンに、山形県看護連盟の重点目標を「1. 組織の拡大と強化」「2. 支部活動の

活性化」「3. 看護職の政治意識を高める」としています。平成29年度末の会員数は1,002名で、全国ワースト5位でした。会長の挨拶を行動目標にして『FACEtoFACE』で一人ひとり皆で会員を増やす努力が急務なのだと感じました。社会情勢は激変し、「職場環境は自分で守る」当事者意識を促すためにも、ソーシャルネットワークによる情報発信をすることで、多くの世代の理解者(会員)の拡大につながるのではないかと思います。



平成30年度 特別講演会

開催日：平成30年5月26日(土) 場所：山形ビッグウイング 国際交流プラザ 参加者：115名
講 師：松村 啓史 氏 テーマ：明日への活力を踏み出す一歩

特別講演会に参加して

日本海酒田リハビリテーション病院 阿 部 み と



今回、私は松村先生の講演を聴講し、自分を振り返る良い機会となりました。

これまでは、師長としてスタッフを引っ張っていかなければならないプレッシャーに悩み、行動するタイミングを逃して一人で落ち込み自分の中で悪循環を作り出していた事に気がつきました。自分の性格や気質はすぐに変えられるものではないが、常に笑顔を意識していく毎日が重要で、みんなで患者を喜ばせる

ためにどのようにしたらよいのかを話し合い、実践する。それを続けていく事で、自分の理想とする自分に変わっていくのではないかと思います。

「看護は“回復過程の支援”世界唯一、愛を基盤とした最高の仕事である」の先生のお言葉は、まさに勤務している回復期リハビリテーション病棟に当てはまるものでした。『ひらめき』と『ときめき』を組織の『やるき』に変えていけるように「死ぬこと以外はかすり傷」で毎日がんばっていかうと考えています。

平成30年度 日本看護連盟通常総会

開催日：平成30年6月5日(火)

場 所：ザ・プリンスパークタワー東京

出席者：1721名（山形県看護連盟より22名）

平成30年度日本看護連盟通常総会に参加して

山形県看護連盟幹事 有 川 芳 子

通常総会は、平成30年6月5日、ザ・プリンスパークタワー東京の会場で行われました。総合司会は、我が看護連盟伊藤会長が務め、聞きやすい口調でスムーズな進行が行われました。祝辞を、自由民主党高村副総裁、田村衆議院議員の他、多くの議員よりいただきました。議員の皆様は、看護を取り巻く問題を理解していることが分かり納得できました。

挨拶の中で最も印象に残ったのは、看護連盟草間会長と看護協会福井会長の挨拶でした。草間会

長は「看護職はチーム医療のキーパーソンでもあるため、現場の問題を解決することは必要である。選挙で結果を出して議席を守り、また、社会の皆様と認識してもらうよう一致団結し協力していきましょう。」福井会長は「看護連盟と看護協会は、看護の実践の場において政策実現のために連携しているので安心して下さい。制度政策が動く時、様々な問題解決のために一緒に行動していきましょう。」両会長の言葉や思いが、多くの看護職に届いてほしいと感じた1日でした。



石田まさひろ活動報告

先の国会では、「働き方改革関連法案」が審議されました。私、石田まさひろは、厚生労働委員会の筆頭理事として汗を流す毎日を送り、6月末に法案成立に漕ぎ着けました。

どんな法改正がおこなわれたの？

・「働き方改革関連法案」の改正では、罰則付きによる長時間労働の上限規制や正社員、パート、派遣社員等の違いによる処遇の格差、勤務と勤務の間隔のインターバル制度普及促進、産業医・産業保健の機能強化などが行われます。

どうして今、働き方改革が必要なの？

・人口減少により今後人材確保はますます難しくなります。そこで従来の働き方を見直す動きが出てきました。

働き方改革では人材確保と生産性の向上を目指す！

・子育てや介護中の方、病気や障害を持ちながら働く方、リタイヤして現役ほどフルには働けないけどまだまだ活躍できる方など、多様なライフステージの看護職や復帰に踏み切れない潜在看護師が活躍できるよう、勤務体制を考える時期に差しかかっています。また、限られた人材と時間の中でケアの時間を充実させるために、看護の生産性についても考え直すなくてはなりません。

看護連盟の大きな働きかけのかいあって、今年度の診療報酬・介護報酬改定では、すでに方針が大きく転換され、事務的書類などの簡略化・軽減化に向けて動き出しました。現場の果敢なチャレンジにより、皆さん一体となり看護の働き方改革に取り組んでいきましょう。

庄内最上支部

支部長 信夫 松子

施設名 日本海総合病院 日本海酒田リハビリテーション病院
 県立新庄病院 順仁堂遊佐病院
 県立こころの医療センター 鶴岡市立荘内病院
 最上保健所

この度、統合された庄内最上支部の支部長を拝命いたしました。新生支部としての取り組みが十分できるよう力を尽くしていきたいと思ひます。看護職一人ひとりが制度に関心を持ち組織を通じて行動する事が大切ですが、まず看護協会の提言する看護政策実現のために看護連盟が存在する事を伝えていきたいと考えます。



村山第1支部

支部長 横山 幸子

施設名 寒河江市立病院 吉岡病院 西川町立病院

今年度は、施設連絡員とさらなる連携を念頭に、施設訪問や情報の共有化を図りながら「顔の見える活動」を展開していきます。

月山、葉山、舞鶴山と風光明媚な土地柄で伸び伸びと、しかし、一步一步地固めし、抜群のチームワークで頑張ります。

村山第2支部

支部長 大熊 由紀

施設名 県立河北病院 北村山公立病院
 青空訪問看護事業所

昨年までは、東西村山第二支部として活動していましたが、支部再編により3施設が合同体となりました。施設連絡員と共に支部役員会を起点として活動を練り、活動の見える化を推進し情報の共有化を図りたいと考えています。未来の看護のために行動したいと思ひます。



置賜支部

支部長 鈴木 文

施設名 米沢市立病院 米沢市すこやかセンター
 訪問看護ステーションナーシングなごみ
 公立高畠病院 白鷹町健康福祉課
 公立置賜総合病院 公立置賜南陽病院
 公立置賜長井病院 白鷹町立病院

当支部は、ほとんどが公的施設で施設連絡員の方々も活動しにくい環境にあります。第1回目の施設連絡員会が終わり、施設連絡員の方々の協力を得て、一人でも多くの会員増を目指す支部活動がスタートしました。今年もフェイスtoフェイスでアナログで行きたいと思ひます。

三友堂支部

支部長 寒河江裕子

施設名 三友堂病院 三友堂看護専門学校
 三友堂訪問看護ステーション
 三友堂リハビリテーションセンター

当支部は3施設の構成です。活動目標は「連盟活動の意義と理解を深める」です。会員への情報発信と、会員が連盟活動に参加し多くの会員とふれあい、考える機会を得る事から「看護職の明るい未来」を信じ結果に繋がる支部活動を目指します。



支部紹介

11支部に再編され一部名称変更をおこないました。

山形第2支部

支部長 飯野佐知子

施設名 山形市立病院済生館・高等看護学院
山形市役所

前任者から引き継ぎ、会員増への対策や研修会など従来通りの方法が続けておりましたが、目標に掲げた会員増が年度毎に減少傾向となっていました。今年度は支部長として3年目となり、入会周知方法を見直し、個人毎の加入を試み、少しずつ功を奏してきているような気がします。

山形済生会支部

支部長 長岡美紀子

施設名 山形済生病院

この度、済生会支部長という大役を引き受ける事になりました。連盟の仕事に携わるのは初めての経験ですが、会員一人ひとりの力が組織を動かす源である事を念頭に置き、会員拡大、組織の強化を目標に努力していききたいと思います。皆様のご指導とご支援を心からお願い申し上げます。

山形第1支部

支部長 長岡 咲子

施設名 山形厚生看護学校 小白川至誠堂病院
山形県看護協会 みゆき会病院 山形厚生病院
県立こども医療療育センター 矢吹病院
サンシャイン大森 県立中央病院 村山保健所
県立保健医療大学 山形大学医学部附属病院
山形徳洲会病院 は一と&は一とケアセンター

これまで先輩諸氏が看護職の地位向上のためにご尽力されたおかげで、現在の看護教育や職場環境が整備されてきた事に感謝申し上げます。今年度は支部再編があった事もあり「顔の見える活動」が大切と考え情報発信していきたいと思います。これからの未来に向けて、看護はどうあるべきなのでしょう。働きがいのある職場、生きがいのある人生にするために多くの入会を呼びかけています。

東北中央病院支部

支部長 佐藤香奈子

施設名 東北中央病院

この度、東北中央病院支部長をさせていただく事になりました。どうぞ宜しくお願いします。連盟活動を通してベッドサイドの声を届け、その声が政治を変え、看護職が生き生きと働き続けられるものに繋がればとてもハッピーな事です。まずは会員へ情報の提供と活動意義を伝えていきたいと思います。

篠田好生会支部

支部長 早坂 修子

施設名 篠田総合病院・看護専門学校
天童温泉篠田病院 千歳篠田病院

今年度より篠田好生会支部長を引き受ける事になりました。「看護連盟の活動に参加し、連盟の役割を理解する」を支部目標として取り組んでいきます。自分自身も社会情勢に目を向けながら自己の向上に努め若い世代の看護師が政治に少しでも関心を持ち連盟の活動に興味を示してもらえる様、楽しく活気ある支部でありたいと思います。

舟山病院支部

支部長 佐藤 剛康

施設名 舟山病院

当支部は米沢市駅前にあります特定医療法人舟山病院の単独施設支部です。会員が少ない支部ではありますが、今年度からは支部研修の更なる充実を目標として活動しております。施設内には県青年部委員長がおり、新人オリエンテーション等先頭になり若手会員との繋がりもできているところです。今後とも近隣支部との協力体制を築きながらも支部の特性を生かし連盟活動を推進してまいります。



平成30年度 新支部長オリエンテーション・支部長研修

開催日：平成30年6月30日(土)

場所：山形県看護連盟会議室

参加者：19名

平成30年度山形県看護連盟通常総会を経て、山形県看護連盟組織体制が決まりました。去る6月30日新支部長オリエンテーション及び支部長研修会が開催され、これからの支部取組について研修、グループワークを行い実情を知ると共に多方面から理解を深める事ができました。私たち看護職の代表を国会に送り出すために各支部一丸となって活動する事を確認しました。

各支部の実情

- ・会員数は多いが若い方への情報が不足しているので理解を深めるための研修が必要である。
- ・新規採用の看護師へ連盟の紹介を実施しているが十分な理解を得られない。
- ・新会員確保も研修を通して考えるのは難しい。
- ・地域支部の場合、役員が施設に入るのは難しい。
- ・施設連絡員の活動、役割が不透明である。
- ・自分たちの声がどのようなアクションに繋がったか分かりづらい。



今後の支部活動活性化のために取り組みたい事



- ・基礎研修等を実施し連盟の歴史や議員の活動等、身近に感じてもらえるようにする。
- ・会長や担当役員と連携し研修の講師等協力を得る。
- ・支部役員会をできるだけ定例会にし、参加しやすい体制づくりをする。
- ・施設訪問、部署訪問を実施して看護連盟について理解を深めてもらえるよう努める。
- ・個人会員、先輩会員を大切に、常日頃から施設連絡員と連絡をとっていく。
- ・組織的に働きかける体制づくりをする。



◆新役員紹介



幹事 有 川 芳 子

この度、幹事をお引き受けしました有川芳子と申します。

看護連盟は看護協会の目的達成のための政治活動を行う組織であり、微力ではありますが看護職代表の議席を守ること、また、社会の皆様にも認識していただけるように頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



幹事 菅 野 美 喜 子

平成30年度の山形県看護連盟活動のスタートにあたり、役員会の一員として幹事の任につかせていただくことになりました。

支部活動を通して、職能団体としての活動の意義や政治力の必要性について学びました。また、『働き方改革』に示されるように働く環境も大きく変わろうとしています。看護職としても政治に関心を持ち現場の声を届けていくことが将来的にも大切な役割だと認識しています。

幹事としては新人ですが、「組織の拡大と強化」に向け、これまでの学びを活かしながら活動していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

旧役員

ありがとう

ございました



副会長

坂 野 和 子

幹事長

小 松 章 子

第5回日本看護連盟 北海道・東北ブロックポリナビ ワークショップin青森

開催日：平成30年7月14日(土)

場所：青森国際ホテル

参加者：100名

北海道・東北ブロックポリナビワークショップin青森に参加して

東北中央病院 菊池 由 惟



今年度で5回となった北海道・東北ブロックポリナビワークショップが、今回は青森県で開催され、北海道と東北各県から計100名が参加しました。山形県からは、8名の参加でした。

講演は青森市長の小野寺晃彦氏より「青森市の『やさしい街づくり』」という演題でお話をいただき、医療・福祉面での青森市の活動をお聞きしました。その中で、青森市が取り組んでいる「ボランティアポイント制度」を知りました。ボランティアで貯めたポイントが商品券等に交換できる制度で、ボランティア推進に繋がる面白い制度であると感じました。

また、グループワークでは青森県の平均寿命が全国ワースト1位であることから「短命県返上を考える」というテーマで話し合いました。私たち看護職として関心ある内容で、活発な意見交換ができました。今回のポリナビ参加を通して、普段お会いできない他県の青年部の方々と交流ができて良い刺激になりました。



北海道・東北ブ
ロックポリナビ
ワークショップ
in青森



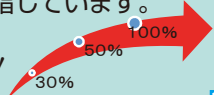
🌸🌸 今後の予定 🌸🌸

日 程	時 間	事業・研修会	テ ー マ	講 師	会 場
平成30年 9月2日(日)	10:30~12:00 12:30~13:45	石田まさひろ氏来県	・石田まさひろと看護を語る会 ・座談会 「山形の看護の未来を語ろう」	参議院議員 石田まさひろ氏	パレス グランデール
平成30年 9月14日(金)	11:00~12:30 13:30~15:30	平成30年度 支部長・施設連絡員研修及び県別会議	・研修会 「選挙違反防止について」 ・県別会議	日本看護連盟 常任幹事 尾形 妙子氏	パレス グランデール
平成30年 9月29日(土)	11:00~16:00	平成30年度 第1回山形県看護連盟研修会	リーダー研修会 「中間管理職の役割 - 職場改革に向けて -」	山形県立保健医療大学看護学科 准教授 寺島美紀子氏	篠田総合病院
平成30年 10月13日(土)	9:30~12:30	平成30年度 第2回山形県看護連盟研修会	実践研修会 「快適な排泄ケア」	篠田総合病院 吉田加代子氏	東北中央病院
平成30年 10月18日(木)~ 19日(金)		会員研修	国会見学	*参加者募集中	
平成30年 11月1日(木)	未定	山形ポリナビワークショップ		未定	ビッグウイング 2F交流サロン
平成30年 12月8日(土)	13:30~15:30	山形県看護協会・山形県看護連盟合同研修会	看護の将来ビジョンと看護職の役割について	公益社団法人 日本看護協会 副会長 秋山 智也氏	山形県看護協会 会館

石田まさひろを応援する会



会員の親会員入会率100%を目指しています。
子会員の入会も同時受付中です。
目標達成に向け頑張りましょう!!



編集 後記

平成30年度山形県看護連盟通常総会が終了し、各事業が始動しました。この度、支部の再編がありましたので支部紹介を掲載しました。

(後藤)

💖💖 会員募集中! 💖💖

**1ヶ月667円で
私達のくらしが良くなる、仕事が楽しくなる!**

看護職は、生涯現役のお仕事です。第2、第3の職場でも連盟会員の継続をお願いします。



あなたの
入会お待ち
しています

現在の会員数 1,011名 正 会 員: 会費 8,000 円
賛助会員数 36名 賛助会員: 会費 1,000 円
学生会員: 無料

連絡先 山形県看護連盟事務局 TEL. 023-633-8153
〒990-0023 山形市松波4丁目-1-39 E-mail: kango_ya@bz03.plala.or.jp

本物だけがもつ確かな品質

ALL SEASON使用できます



(60×100cm) (200×250cm) (230×230cm) (230×330cm)
¥8,000(税別) ¥60,000(税別) ¥80,000(税別) ¥100,000(税別)

葛城緞通の特徴

- ・冬は、こたつ敷き、ホットカーペットカバー、夏はセンターラグ。年中使用できる多目的ジュタン。
- ・確かな素材で織りなすゴージャスな雰囲気とソフトな肌ざわり。
- ・折りたたみができるのでコンパクトに収納できます。



葛城緞通 Lite.
(200×250cm)
¥52,000(税別)



葛城緞通 DX
(200×250cm)
¥80,000(税別)

Grand Feather グランドフェザー

〒940-0044 長岡市住吉1丁目5番17号

(お問合せ先) TEL 0258-33-3208
FAX 0258-33-3210
URL <http://grandfeather.jp/>